

CTODT関数

文字または数値の日付値を日付型・日付時刻型・時刻型に変換します。

◇機能

文字または数値の日付値を日付型・日付時刻型・時刻型に変換する機能です。

◇構文

CTODT(処理方法,文字/数値,書式)

引数	入力内容
1 処理方法	変換補法を指定します。 0：日付型へ変換します。 1：日付時刻型へ変換します。 2：時刻型へ変換します。
2 文字/数値	文字、数値、フィールド(文字/数値)を指定します。
3 書式	適用させたい書式を指定します。 YYYYMMDD, YYYYMMDD hh:mm:ss, hh:mm:ss 以外の書式を使用した値を指定する場合には、書式が必須となります。 書式に何も入力されなかった場合は、入力される値から判断して、`YYYY/MM/DD`、`YYYY/MM/DD hh:mm:ss`、`hh:mm:ss`の何れかの書式が適用されます。

CTODT(文字/数値, 書式)

処理方法 0:日付型へ変換します。1:日付時刻型へ変換します。2:時刻型へ変換します。

文字/数値 文字、数値、フィールド(文字/数値)を指定します。

書式 適用させたい書式を指定します。

文字または数値の日付値を日付型・日付時刻型・時刻型に変換します。
出力される値の書式は、THUMGY Dataで利用可能な日付型・日付時刻型・時刻型の書式のみを用いることができます。
●書式: 出力される際の書式を指定することができます。
YYYYMMDD, YYYYMMDD hh:mm:ss, hh:mm:ss 以外の書式を使用した値を指定する場合には、
書式が必須となります。
書式に何も入力されなかった場合は、入力される値から判断して、`YYYY/MM/DD`、

OK キャンセル

◇戻り値のデータ型

日付時刻型

◇処理の例

例	式	戻り値
文字または数値の日付値を日付・日付時刻・時刻に変換します。	CTODT(0,"20141231","YYYYMMDD")	2014/12/31
	CTODT(0,"20141231 235959")	2014/12/31
	CTODT(0,20141231,"YYYYMMDD")	2014/12/31
	CTODT(1,20141231.235959,"YYYYM MDD.hhmmss")	2014/12/31 23:59
	CTODT(2,"t235959")	23:59:59
	CTODT(2,"23:59:59")	23:59:59
	CTODT(2,,"235959")	23:59:59
	CTODT(2,0.235959)	23:59:59
	CTODT(0,"20141231 235959","YYYYMMDD hhmmss")	2014/12/31
	CTODT(1,"20141231 235959", "YYYYMMDD hhmmss")	2014/12/31 23:59
	CTODT(1,"20141231 235959", "YYYYMMDD hhmmss")	23:59:59
	CTODT(0,20141231.235959,"YYYYM MDD.hhmmss")	2014/12/31
	CTODT(1,20141231.235959, "YYYYMMDD.hhmmss")	2014/12/31 23:59
	CTODT(2,20141231.235959, "YYYYMMDD hhmmss")	23:59:59